

【2025年最新】LiPro評価基準（公認会計士通信講座）

LiProでは公認会計士通信講座のランキング作成において、評価基準を作成いたしました。



当サイトは広告収入を元に運営されています。ユーザーの皆様に公正、かつ、正確な情報をお届けするために、広告にあたる商品・サービスには「PR」や「スポンサードリンク」などの記載をすることを遵守しています。「選び方」で紹介している情報は、必ずしも個々の商品の安全性・有効性を示しているわけではありません。商品を選ぶときの参考情報としてご利用ください。

調査概要

調査方法	調査した公認会計士通信講座を確認
調査実施期間	2025年1月30日～1月31日

1. 評価基準の設定の流れ

評価基準の設定の流れは以下の通りです。

1. 各公認会計士通信講座の公式サイトを確認
2. 評価基準の項目について調査
3. 評価基準をもとに評価をする

1-1. 各公認会計士通信講座の公式サイトを確認

調査する公認会計士通信講座の公式サイトにて、サービスの内容等を確認しました。

1-2. 評価基準の項目について調査

評価基準（「受講費用」「カリキュラム内容」「サポート内容」「合格実績」「教材の見やすさと充実度」）の5項目に関して、公認会計士通信講座の公式サイトの情報进行调查しました。

1-3. 評価基準をもとに評価をする

調査した情報を確認して、評価基準をもとに評価をしました。

2. 評価基準

「受講費用」「カリキュラム内容」「サポート内容」「合格実績」「教材の見やすさと充実度」の5項目において、1～5までの評価基準を設定いたしました。

項目	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5
受講費用	70万円以上	50万円以内	30万円以内	20万円以内	10万円以内
カリキュラム内容	自主制作した問題集や過去問をそのまま書き換えただけなど、最新の試験内容に合致していない。試験範囲を十分にカバーできない。	基礎的な内容はカバーできているが、具体的な内容の説明に欠ける。講師による進捗確認や課題提出は無い。	基礎的な内容はカバーできており、具体的な内容を補足する説明も充実している。	基礎的な内容、補足資料も充実しており、過去問は常に最新の状態で更新されている。	常に最新の試験内容に更新されており、補足資料も充実している。講義スタイルは選ぶことができ、途中変更も可能。
サポート内容	サポートや疑問点を解消する場が無く、自己管理が求められる。	質問はできるが、対応が遅かったり理解が不十分で理解が進まない。	質問ができる体制が整ってはいるものの、その後の進捗確認などはなく自己管理が求められる。	サポート体制が整っており、疑問点はすぐに解消できる。質問回数に制限はない。	サポート体制が充実しており、質問回数に制限はない。合格後のサポート体制も整っており、就職や進路の相談にも乗ってくれる。

合格実績	公式サイトに合格実績を公表していない、または合格率が非常に低い。	合格実績数の記載がないが、合格者の声が数件掲載してある。	合格率は50%以下。	合格実績が記載されており、合格者の声も最新年度のもの。評判も高く、一定の合格者がでている。	合格実績が毎年記載されている、最新年度の合格者の声。評判は高く毎年一定の合格者がでている。
教材の見やすさと充実度	文字が多くカラーやイラスト、図表が使用されておらず理解がしづらい。	イラストや図表が少なく見づらい。内容も薄く試験範囲を十分にカバーできていない	カラーではないが必要な箇所は図表も交えて補足説明がある。動画でも学べる。	全面カラーのテキストで見やすい。Webテキストも用意されており、どこからでも確認できる。	全面カラーテキスト、Webテキストが用意されており最新の問題動向に合わせて内容が網羅されている。

2-1. 受講費用

公認会計士の試験は出題範囲が膨大で長い年月の学習時間を必要とするため、通信講座の費用も高い傾向にあります。そのため受講費用を判断の基準としました。

2-2. カリキュラム内容

膨大な試験範囲のほか、毎年出題傾向も変わるため、最新の出題傾向に対応しているかどうか、また補足資料を用いてわかりやすくしているかを評価の基準としました。

2-3. サポート内容

難易度が高い公認会計士試験では疑問点をなるべく早く解決することで、スムーズに学習を進めることができるため、質問体制のほか合格後のサポート体制が整っているかを評価しました。

2-4. 合格実績

合格実績が明示されていることで合格へと近づく大きな判断材料となると判断したため、合格実績を評価の基準としました。

2-5. 教材の見やすさと充実度

各講座によってそれぞれオリジナルのテキストを用意していることが多く、基本的な内容だけのものや、図や表を用いて視覚的にも見やすくする工夫をしているなど、教材の見やすさや充実度によって学習効率が変わってくるため、評価の基準としました。

3. 調査した公認会計士通信講座

今回調査したのは下記の公認会計士通信講座です。

公認会計士通信講座	公式サイト
CPA会計学院	公式サイト
クリアール	公式サイト
TAC	公式サイト
資格の大原	公式サイト
LEC東京リーガルマインド	公式サイト
ICOライセンススクール	公式サイト
FIN	公式サイト